

# 平成30年度 第2回 学校運営協議会 記録

○日時 平成30年11月21日(水) 午後15時30分～17時00分

○場所 本校 高等部棟2階 図書室

○参加者 学校運営協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川 弘美 様  
立命館大学 産業社会学科 教授 青山 芳文 様  
門真市公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官  
野志 秀憲 様  
錦地域コミュニティ協議会 会長 渡辺 人司 様  
守口支援学校 学校医 森口 久子 様  
本校PTA会長 中重 早苗 様

事務局 可知校長 佐野教頭 紙野教頭 與賀田事務長  
西面小学部主事 山本中学部主事 石田高等部主事  
室田首席 寺村養護教諭 各分掌部長

○内容

- 1 学校長挨拶
- 2 学校運営協議会会長挨拶
- 3 学校教育自己診断(教頭) 30年度学校教育自己診断 アンケート項目について報告
- 4 ご提言  
学校教育自己診断について、アンケートには検討課題がある。項目の回答は大体推測できる。  
項目にないものを拾うことも必要。自由記述の項目も取り入れる事も検討が必要
- 5 今年度の学校経営計画の進捗状況について(校長、各分掌担当)  
各分掌より報告
- 6 新たに立ち上げた研究推進部の進捗状況について(研究推進部)  
研究授業全般・公開授業・実践交流会。
- 7 質疑・協議並びにご提言
  - ・実践交流会は良い取り組みだと思う。小・中・高一体となっただけいたら保護者にとっては良い。続けてほしい。
  - ・自活日より、ストレッチの絵について、学校でしていることをお示ししていて、わかりやすい。家でもしてもらい、継続して取り組むことが重要。連続していくことは良いこと。
  - ・大規模災害に関して、生徒保護者への連絡方法の連絡方法、学校で1日過ごす備蓄・お薬。保護者とやり取りを徹底しておくことが大事。
  - ・1学期の学校運営協議会で、先生方全員の授業公開はずばらしいとお伝えした。研究推進部の発表、前々校長の考えが進んでいる。授業見学を通して「わかって動ける」授業への移行の為にT1、T2の距離感、意識の変化が課題となる。
  - ・業務削減できれば。やればやるほど子どもに響く。達成感もある。軽重をつける。どこかの時点で、「思いきってやめよう」という判断も重要。
- 8 第3回学校運営協議会日程の予定について・その他